

**第69回福島県高等学校PTA連合会福島大会
開会式における県高等学校長協会会長 祝辞**

福島県高等学校長協会会長（磐城高等学校長） 阿部 武彦

ただいま御紹介いただきました福島県高等学校長協会の会長を務めております磐城高校の阿部でございます。県高等学校長協会会長としてお祝いの言葉を申し述べます。

第69回福島県高等学校PTA連合会福島大会の開催、誠におめでとうございます。また、日頃より、PTAの活動に御理解をいただき、本県生徒の心身の成長と各学校の教育活動に様々な側面から御協力を頂いておりますことに対して、県内全ての県立学校長を代表して深く感謝申し上げます。

近年の国による教育改革の動き、とりわけ学習指導要領改訂と大学入試制度改革に関する動きからは目が離せない状況にあります。

新たな大学入試制度は令和2年度末から実施されることとなります。出題内容についても、国語、数学における記述式の導入、英語における資格検定試験の利用等目が離せない状況です。本年11月には、3年生と2年生に共通IDが付与される予定です。資格試験そのものは来年4月から11月初旬まで年3回の期間で実施し、業者が同じでも違っても、2回受験した良いほうで使用できるという説明ですが、具体的にどのような状況で行われるかはまだ不明です。各大学での取り扱いも不明です。

全国の校長会も様々な機会を捉えて声を上げているのですが、福島県高等学校長協会としても他県と連携して、早めの対応を共有していくことで生徒の立場になって連携しています。校長として何ができるかについて知恵を絞っていきたいと考えておりますので、保護者の皆様も今後の報道や学校からの情報に注意していただきたいと思っております。

本日は、高校生のアトラクションとして、福島高等学校の合唱部と管弦楽部との発表が準備され、また、講演として、篠木雄司さまの生き方のインフラ教育のお話が予定されていると伺いました。

この福島大会が、参加された皆さんにとって「福島に来てよかったな。飯坂に来て良かったな」と言っていただけの大会になることをお祈りして、お祝いの言葉と致します。

本日は、第69回大会の開催、誠におめでとうございます。